

🍴 早期発見、早期対応が重要

認知症は早期に病院を受診することで、治療で改善できる認知症かどうか分かります。早期に対応することで症状の改善が期待でき、改善できなくても進行を遅くすることができます。

認知症は不安を抱えて生活することで進行していきます。一人で抱え込まずに相談してみましょう。



脳いきいき度チェック・結果説明会

認知機能の低下や自分の認知機能の特徴を調べることができ、結果説明会では、苦手な分野のトレーニング方法を学ぶことができます。

とき チェック会…10月20日📅
結果説明会 11月24日📅

※いずれも午後2時～4時
※年間の開催日程は市ホームページに掲載

ところ 天草東保健福祉センター（栖本町）

定員 30人（先着順）

申込方法 10月13日📅までに電話で申し込んでください。

☎高齢者支援課☎24-8864



▲市ホームページ



🍴 認知症のことを考えてみませんか ～9月は世界アルツハイマー月間～

脳の病気や障がいなどさまざまな原因により認知機能が低下し、日常生活全般に支障が生じる状態になる認知症。特に65歳以上の高齢者に多く発症しており、令和7年には高齢者の約5人に1人が認知症になると言われています。

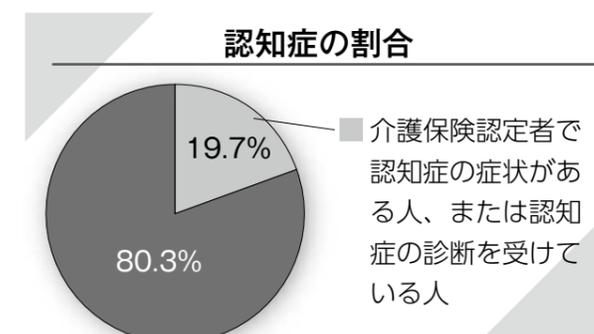
認知症は誰でも発症する可能性があり、症状を理解して身近な病気として捉えることが大切です。今号では、認知症に対する市の取り組みを紹介します。予防するために、できることから始めてみましょう。

☎高齢者支援課☎24-8864

🍴 本市の現状

令和4年3月末現在、65歳以上の高齢者31,538人のうち、6,200人に認知症の症状があり、全体の19.7%となっています。

全国的に、「令和7年には高齢者の5人に1人が認知症になる」と言われている中、本市ではすでに5.1人に1人が認知症を発症しています。



🍴 認知症を予防するために

趣味を楽しんだり地域の活動に参加したりするなど、社会とのつながりを持っている人は認知症になりにくく、発症しても進行が遅くなると言われています。市では、介護予防の基盤となる「通いの場」の普及や「脳いきいきサポーター」の養成を行っています。

🍴 認知症について相談できます

「最近、もの忘れが多くなった」、「認知症の人への接し方を知りたい」、「病院を受診したい」など、もの忘れや認知症への悩みを誰でも相談できます。

もの忘れ相談室

とき ①9月21日📅 ②9月28日📅
※いずれも午後1時～4時

ところ ①市役所牛深支所
②倉岳町老人福祉センター

相談員 ①森田千香子さん
(認知症介護指導者)
②グループホームはまかぜ
塚元麻理子さん

定員 いずれも3人（先着順）

申込方法 各開催日の一週間前までに電話で申し込んでください。

☎☎①天草牛深地域包括支援センター
すいせん ☎72-1133
②天草東地域包括支援センター
あじさい ☎66-2266

認知症相談室

認知症の専門医が対応するので、専門的な話を聞くことができます。

とき ①毎月第4月曜日
②10月6日📅

いずれも午後1時30分～3時30分
ところ ①天草病院（佐伊津町）
②複合施設こころす

申込方法 各開催日の一週間前までに電話で申し込んでください。

☎☎市認知症相談センター
(天草地域医療センター内)
☎24-5912



通いの場

通いの場は、地域の公民館などに週1回集まり、健康のための体操や脳トレなどを行う住民主体の集いの場です。現在、市内189カ所で開催されており、約2,400人が参加。認知症予防、生きがいや楽しみづくりにつながっています。

参加を希望する人はお尋ねください。



脳いきいきサポーター

養成講座を受講した約390人の脳いきいきサポーターが通いの場やいきいきサロン、老人会等で脳トレを行うなど認知症予防活動に取り組んでいます。

【養成講座を開催】

対象 全ての講座に参加でき、地域の通いの場やサロンなどで実践できる人（事業所職員は対象外）

とき 10月13日・27日、11月10日・24日、12月8日・22日、令和5年1月12日・26日
いずれも木曜日（全8回）午前10時～正午

ところ 複合施設こころす

定員 35人（抽選）

申込方法 9月26日📅までに電話で申し込んでください。※結果は後日郵送

☎高齢者支援課☎24-8864

生活しやすい社会を創る

認知症は誰でも発症する可能性がある病気です。症状を理解し、社会全体で認知症の人やその家族が生活しやすい社会を創っていくことで、認知症になっても安心して生活することができます。



認知症サポーター養成講座

認知症の人への接し方、症状や予防法などが学べます。講座に参加して認知症のことを正しく理解しましょう。



▲詳細はこちら

あまくさオレンジの集い

認知症の人の介護者が集まり、他の家族から介護のヒントをもらったり、情報交換したりする場です。



▲詳細はこちら

みまもりあいアプリ

スマホを活用したアプリです。認知症の人などが行方不明になった際に、ネットワークを利用し情報を共有します。協力が増えることで「見守りあえるまち」を創ることができます。



▲詳細はこちら

認知症カフェ

認知症の人やその家族、地域の人、専門職など誰でも参加できるカフェが開催されています。新しく開設する際には補助金があります。



▲詳細はこちら

〇市認知症相談センター(天草地域医療センター内) ☎24-5912

困ったときは地域包括支援センターに相談してください

認知症や介護保険などの総合相談窓口です。

名 称	対 象 地 域	電話番号
天草中央地域包括支援センター なでしこ	本渡南、本渡北、本町	66-9300
天草北地域包括支援センター きずな	佐伊津町、旭町、五和町	32-2115
天草南地域包括支援センター うぐいす	亀場町、楠浦町、戸宇土町、宮地岳町、新和町	24-4115
天草西地域包括支援センター さざんか	天草町(大江向除く)、河浦町	76-1611
天草牛深地域包括支援センター すいせん	牛深町、久玉町、魚貫町、二浦町、深海町、天草町大江向	72-1133
天草東地域包括支援センター あじさい	志柿町、瀬戸町、下浦町、有明町、倉岳町、栖本町	66-2266
御所浦サブセンター	御所浦町	67-1777



Vol. 015 マリア観音像 (天草ロザリオ館)



江戸幕府が行ったキリスト教の禁教政策下に、潜伏キリシタンが聖母マリアに見立てて信仰の対象にしていたと伝わるマリア観音像。

表面上は仏教徒であることを装いながら信仰の拠り所としていたもので、潜伏期におけるキリスト教の信仰継続を物語る資料の一つです。多くは中国の徳化窯で焼かれた白磁製で、胸に子どもを抱え、龍が支える蓮華座の両脇に、合掌する子ども(右)と宝珠を持つ子ども(左)がいるのが特徴です。



地域の歴史を知る上で欠かせないのが「文化財」。今回は、天草ロザリオ館の収蔵資料を紹介しします。

天草 文化財 探訪

〇文化課 ☎32-6784

天草 見どころ図鑑

下津浦川沿いを町内一の彼岸花の名所にしようと、30年以上前から植栽が始まり、現在も地域住民により毎年1,000本以上が植えられています。

9月中旬には10万本の彼岸花が約1.5キロメートル続き、有明町の秋の名所の一つとなっています。

★ここに注目

地区振興会のホームページに掲載されている日記もチェック!



下津浦地区「彼岸花ロード」(有明町)